

浜松市国民健康保険 糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

1 経緯等

- ・ 国が糖尿病患者数の増加を課題とし、日本医師会、日本糖尿病対策推進協議会、厚生労働省で連携協定を締結し、糖尿病による腎不全、人工透析への移行を防止することを目的とした「糖尿病性腎症重症化予防プログラム（以下、「プログラム」という。）」を平成28年6月に策定した。平成31年4月には更なる取り組みの充実を図るため、プログラムの改定を行った。
- ・ 浜松市国民健康保険においても、糖尿病の重症化予防対策をさらに推進するため、令和元年6月から「浜松市国民健康保険 糖尿病性腎症重症化予防検討会（以下、「検討会」という。）」を立ち上げ、浜松市国民健康保険のプログラムの検討を行ってきた。
※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、約半年間、休会したが令和2年9月から再開（オンライン会議）した。
- ・ この度、検討会での意見を踏まえ、浜松市国民健康保険版プログラムを策定したので報告する。

2. 事業概要

(1) プログラム概要

- ・ 裏面のとおりに

(2) プログラムの特徴

- ・ 病診連携で専門医を腎臓専門医(内科)としたこと。
- ・ 受診前の相談場所として市内協力薬局を設定したことや歯周病検診の啓発をかかりつけ医へお願いするなど医療関係機関との相互連携がより図られる内容となっている。

(3) 運用開始

- ・ 令和3年4月（市から対象者へ通知が行くのは6月～）

(4) 周知

- ・ 本市ホームページにプログラム（PDF）及び市民向け説明動画をアップ。
- ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、専門医有志の会、栄養士会など関係機関会員への周知は各会の協力のもと行っていく。

プログラムの概要

